



東国分中だより

令和7年10月24日

NO.12

学校 HP

学校教育目標 「夢や希望を抱き、生きる力を持った生徒の育成」
～知・徳・体の調和のとれた生徒～

<https://ichikawa-school.ed.jp/ekokubun-chu/>

東国分爽風学園
市川市立東国分中学校
校長 植木 昭貴



読書のすすめ



ここ数年、私は読書の魅力にはまるようになりました。日々の忙しさから少し離れ、ゆったりと本を読む時間は、私にとって心を元気に、豊かにしてくれる時間となっています。休みの日に本屋や図書館に行くことも増え、特に図書館に入ると、時がゆっくり流れているように感じるとともに、いろいろな本を目の前にして「もっといろいろなことを知りたい、いろいろなことに触れてみたい。」という気持ちにさせてくれます。

デジタル媒体による情報収集が主流となっている今、世間では「本離れ」を心配する声が多く聞かれています。本校の生徒においても学校評価アンケートからその傾向が顕著にみられています。デジタルによる情報は手軽で分かりやすいですが、その分認知処理能力への負担が高く、心に深く残ったり、影響したりすることが少ないという声もあります。現代の子供たちに低下してきているといわれる「読む力」「書く力」「語彙力」「想像する力」等は、読書に親しむ中で培われていくものです。そして何より本ならではの魅力や楽しさがあると思います。「読書の秋」といわれるこの時期、ぜひとも本の魅力について見直してはいかがでしょうか。

生徒の皆さんのが身近に本に触れることのできる場所として、図書室（学校図書館）があります。本校の図書室は、たくさんの生徒に来館・活用してもらえるよう、図書委員や学校司書の方が日々知恵を絞って興味を誘うような環境を整えてくれており、来室の度に新しい魅力や発見に触れることができます。ちなみに現在の特設コーナーには「心を元気にしてくれる本」や「文化・スポーツ関係の雑誌」が揃えられています。また、学習スペースも設置されており、特に試験前は人気が高いようです。



10月27日～11月9日は「読書週間」です。今年の標語は「こころとあたまの深呼吸」です。それに伴い本校でも10月27日～31日は第2回朝読書推進週間としています。



この機会にゆったりと本に親しんだり、校内外の図書館や本屋を訪れてみたりしてはいかがですか。もしかしたら皆さん的人生に大きな影響を与えるような素晴らしい本に巡りあえるかもしれません。



最後に、「読書にまつわる格言・名言」をいくつか紹介します。

- ・「良い本は、私の人生におけるイベントである。」（スタンダール フランスの小説家）
- ・「読書ほど安い娯楽も、長続きする喜びもない。」（メアリー・ウォートリー・モンタギュー イギリスの著述家）
- ・「読書は、自分の頭ではなく他人の頭で考えるのと同じである。」（ショーベンハウアー ドイツの哲学者）
- ・「本をよく読むことで自分を成長させていきなさい。本は著者がとても苦労して身に着けてきたことを、たやすく手に入れさせてくれるのだ。」（ソクラテス 古代ギリシアの哲学者）
- ・「良書を初めて読むときは、新しい友を得たようである。前に精読した書物を読み直すときは、級友に会うのと似ている。」（オリバー・ゴルドスミス イギリスの詩人・小説家）
- ・「今日の読書こそ、真の学問である。」（吉田松陰 幕末の長州藩士）

